

大野城市DX推進計画 — 第2期 — (概要版)

計画策定の趣旨

- ▶ 令和4年度に策定した「大野城市DX推進計画」(計画期間:~令和7年度末)を改定し、令和8年度以降も最新のデジタル技術や国の動向、社会情勢の変化を反映しながら、着実に市のデジタル化を進める。
- ▶ 国が重視する自治体フロントヤード改革に対応し、行政手続きのオンライン化に加え、市民との接点を多様化・充実化することで負担軽減や利便性向上を実現する。
- ▶ 新たなデジタル技術への対応力を強化することで、行政事務の効率化と市職員の働き方改革を実現する。

市のDXにおける現状と課題

「大野城市DX推進計画」に基づき、市の様々なDXに関する取組を推進している

推進した主な取組

行政手続きのオンライン申請 ICTを活用した見守り 支払のキャッシュレス化 . . .

DXに関する取組を着実に推進し、市民サービスの向上を図った一方で、行政内部の業務効率化を図ることができていない。

行政内部の業務効率化を図り、持続的なDXの推進を図る必要がある

計画の概要 (計画期間:令和8年度~令和12年度)

DXに係る将来像(ビジョン) 「まちにもっと、ひとにもっと ~デジタルがひらく新時代~」

↑ 実現

総合計画(基本計画)

自治体経営方針
方針7 自治体DXの推進

目指す姿

「デジタル技術により行政の機能・サービスが高度化・効率化されている」

取組1

「市民の暮らしを豊かにするスマートシティの実現」

取組2

「行政運営の高度化・効率化の推進」

↑ 推進

大野城市DX推進計画 — 第2期 —

6つの具体的な取組テーマを設定し、テーマごとに設けた目標値を達成すべく各取組を実施することで、市のDXを着実に推進します。

テーマ1 窓口サービス等のDXと利用者の利便性向上

- 「行かない窓口」(オンライン申請)の拡充
オンラインで申請可能な手続き数をさらに拡充します。
- 「書かない窓口」の刷新
本人確認書類を用いて申請書を自動で作成する仕組みを導入します。

テーマ2 行政業務のデジタル化と業務の効率化

- 通知物のデジタル化
マイナンバーカードを活用し、本人に確実に届くデジタル郵便システムを導入します。
- 生成AIの活用拡大
生成AIを行政サービスや業務に積極的に活用します。

テーマ3 職員の働き方改革と柔軟な勤務環境の実現

- ペーパーレス会議システムの導入
紙を印刷することなくタブレットを用いて資料を共有できるシステムを導入します。
- 人事給与システムの更改
年末調整などの各種届出をオンライン化するとともに、円滑な給与処理ができるシステムを構築します。

テーマ4 データ利活用と技術の活用促進

- ノーコードツールの活用拡大
庁内のデータを一元管理し、データの利活用を推進します。
- GIS公開情報の整理と拡充
地図データの共有方法について整理し、公開する地図情報を拡充します。

テーマ5 セキュリティ対策の強化と運用の高度化

- IT資産管理システムの導入
庁内のIT資産(パソコン、ネットワーク機器など)を網羅的に管理することで情報セキュリティの強化を図ることができるシステムを導入します。

テーマ6 人材育成とDX推進の専門的能力の向上

- DX専門人材の配置
ITに関する専門的な知識を有する人材を配置し、DX推進のためアドバイスや支援を受けます。
- 職員研修の開催
DXの考え方や推進手法について外部の講師を招いた研修を行います。